

平成28年度 新潟県立歴史博物館 講座のご案内

(前期:2016年4月～2016年9月)

期日	曜	時間	講座名	講師	内容	対象	定員	会場	持ち物等	申込方法
4月30日	土	13:30～15:00	シリーズ「子ども」連続講座① 「こどもの日は男の子の祝日？」	板橋 春夫	5月5日の「こどもの日」は1948年に制定された祝日です。この日は鯉のぼりをあげるなど男の子の祭りとされています。一方、女の子には3月3日のひな祭りがあります。5月5日はそもそもどのような日であったのか疑問がわいてきます。本講座では、こどもの日の制定過程を踏まえながら、5月5日の意義について論ずる予定です。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール
5月7日	土	13:30～15:00	おふだと呪物崇拝	三国 信一	それ自体が霊的な力を持つ、あるいは霊的存在が宿ったために力を持つとされる「呪物(じゅぶつ)」に対する信仰を「呪物崇拝」と呼びます。おふだを呪物の一種としてとらえ、他の呪物とくらべることで、おふだの力の源を探ります。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール
5月8日	日	13:30～15:00	おふだトーク 「モーゲーおふだの未知なるパワー～恋愛だけには効きません～」	ゲスト 遠藤 麻理 さん (FM PORTモーニングゲートナビゲーター) 聞き手 浅井 勝利	FM PORTの朝の番組「モーニングゲート」のナビゲーター遠藤麻理さんをお迎えして、番組で話題の“おふだ”についてのあれやこれやをお聞きします。	一般	150	講堂	—	電話、葉書、FAX、メール
5月14日	土	13:30～16:00 ※終了時刻注意	ミニシンポジウム 「境界のまじない」	高野 晶文 氏 (三条市生涯学習課) 板橋 春夫 コーディネーター 三国 信一	本シンポジウム「境界のまじない」では、高野晶文氏「三条市周辺の境界のまじない」と板橋春夫「道切り・結界と生活世界」の二人がそれぞれ講演をします。それをもとに講演者とコーディネーターが境界・結界・まじないなどのキーワードについて議論を深める予定です。	一般	150	講堂	—	電話、葉書、FAX、メール
5月15日	日	13:30～15:00	国際博物館の日記念講座 「教育の場としての博物館を考える」	山本 哲也	社会教育施設として認識される博物館ですが、そこで行われるべき多様な「教育」について考えます。(国際博物館会議=ICOMが、5月18日を「国際博物館の日」と制定し、日本国内においても各地で記念行事などが行われています。)	一般	150	講堂	—	電話、葉書、FAX、メール
5月21日	土	13:30～15:00	呪いの古代史	浅井 勝利	奈良時代や平安時代に、おふだやまじないを使って人を呪った事例などを紹介します。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール
5月22日	日	13:30～15:00	講演会 「まじないと文字が出会うとき」	小池 淳一 氏 (国立歴史民俗博物館 教授)	まじない、というどのようなイメージを持たれるでしょうか。容易に理解できない謎めいたもの、ということになるでしょうか。それに怪しげな、という形容詞も加わるかもしれません。それはひそやかに伝えられるもののようにも思われますが、実際はどうなのでしょう。そうした疑問をもとに文字文化との関係を軸として、まじないをとらえ直します。	一般	150	講堂	—	電話、葉書、FAX、メール
5月28日	土	13:30～15:00	おふだと人形	大楽 和正	虫送りや疫病送りの行事では、「おふだ」とともに人形を作る場合があります。日本各地の風習から「おふだ」と人形の関係を読み解き、まじない文化の特質に迫ります。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール
6月11日 6月18日	土	13:30～15:00	古文書講座 ～はじめての古文書～ 前編・後編	井上 信	平仮名を中心に古文書に親しみます。古文書に全くふれたことがない人でも気軽に学べる講座です。	一般	各回 35	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール
6月25日	土	13:30～15:00	民俗収蔵庫見学会	陳 玲	博物館の裏舞台の一つである民俗収蔵庫をご案内いたします。学芸員によって収集、整理され、民俗資料となった生活道具が、新たな姿で新しい発見を提供してくれます。見学会を通して民俗資料の基本的な見方を紹介します。	一般	15	研修室 館内施設	—	電話、葉書、FAX、メール
7月3日	日	①11:00～12:30 ②13:30～15:00	佐渡人形芝居上演会	佐渡 真明座	国重要無形民俗文化財に指定されている「佐渡の人形芝居」の上演会。午前は『出世景清』の一場面、午後は『信州川中島合戦』を上演する予定です。たいへんユニークなのろま人形の上演も予定しています。	一般	各回 150	講堂	—	電話、葉書、FAX、メール

期日	曜	時間	講座名	講師	内容	対象	定員	会場	持ち物等	申込方法
7月9日	土	13:30～15:00	シリーズ「子ども」連続講座② 「縄文時代の子ども」	宮尾 亨	定住的なムラを形成した縄文時代に子どもと大人の区別があったのか？その可能性を人生の通過儀礼にかかわる可能性のある遺物から探ります。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、 FAX、メール
7月23日	土	13:30～15:00	お菓子と新潟 ～江戸時代を中心に～	渡部 浩二	企画展「お菓子と新潟」の展示内容を知る講座。特に江戸時代の展示コーナーについて詳しく解説します。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、 FAX、メール
7月30日	土	13:30～15:00	作ってみよう「本格まが玉」 夏の部	山本 哲也	一般に体験用として使う滑石(かっせき＝硬度1)ではなく、やや硬い石材(硬度3)を使い、また、昔の製作技法も一部取り入れながら、ちょっとだけ本格的なまが玉作りを体験します。なお、「保護者と小学生以下の組み合わせ」で複数名での参加を原則とします。当館売店にて販売する「青田石(せいでんせき)」を購入してから参加して下さい。(当館ミュージアムショップにて300円での販売予定)	親子	30	研修室	青田石 (内容を参照)	電話、葉書、 FAX、メール
8月21日	日	13:30～15:00	講演会 「和菓子の魅力」	中山 圭子 氏 (株式会社虎屋 取締役 虎屋文庫専門職)	食べて美味しいだけでなく、和菓子には日本文化を再発見させてくれるような魅力があります。和菓子の歴史を紐解くとともに、色かたちの美しさや名前の由来、年中行事との関わりなどをご紹介します。	一般	150	講堂	—	電話、葉書、 FAX、メール
9月3日	土	13:30～15:00	明治の新潟を旅した西洋人	西田 泰民	明治前期の新潟を旅した西洋人が残した旅行記や英文ガイドブックから19世紀の新潟県内の情景や人々のくらし、クールにいがたを探ります。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、 FAX、メール
9月18日	日	13:30～15:00	講演会 「古代美術の愉しみ」	稲垣 肇 氏 (MIHO MUSEUM 学芸員)	秋季企画展「古代オリエント美術の愉しみ -MIHO MUSEUMコレクション・エジプトから中国まで-」の開催を記念して、MIHO MUSEUMの学芸員・稲垣 肇氏に、古代美術の魅力をご紹介します。	一般	150	講堂	—	電話、葉書、 FAX、メール

<申込方法・手続き>

・申込方法は、「電話」「葉書」「ファックス」または「メール」での申込となります。いずれも、希望講座名、お名前、住所、電話番号の4項目を明記してください。

* 講師都合等による実施日の延期(中止)ということもあります。その際、申込者にはご連絡をいたしますが、お申込されていない方へはご連絡できませんので、ご注意ください。

※ 申込先

〒940-2035 新潟県長岡市関原町1丁目字権現堂2247番2 新潟県立歴史博物館 経営企画課

TEL: 0258-47-6135 FAX: 0258-47-6136 メール: koryu@nbz.or.jp

※ お申し込みいただいた際の個人情報は、今後の講座や講演会・イベント等のご案内に使用させていただくことがあります。

携帯電話からの申し込みメールはこちらからのQRコードをご利用ください。

